

市民の願い届ける共産党の議席を必ず！

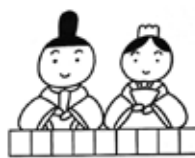


NO.1404

2月26日号

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二 四四五八
F 四三二 四四五七



松浦さとし 後援会事務所開き

4月16日告示で行われる市議選挙に立候補を予定している、松浦敏司議員、村椿敏章議員の後援会事務所開きが19日（日）に行われました。

7期目を目指す松浦後援会の事務所開きが午後2時から行われました。

松浦議員はあいさつで「市民の要望の中でも特に家計に大きな負担になっていた国保料資産割の廃止の実現や子ども医療費の中学校までの完全無償化、学校給食の無償化の実現は議員活動の中でも大きな喜びとなりました」と話しました。

市長選の善戦が力に

後援会員のMさんは「市長選挙の時に『負け戦だな』と思いつつ、あんなにも票が入った。前は回は十分な応援ができなかった。今回は最後まで皆さんといっしょに頑張りたい」と発言、会場から大きな拍手が起きました。

また、後援会員のYさんは「誠実な人柄が大好きです。机と椅子を用意してくれました。皆さんと一緒に電話で支持を広げましょう」と呼びかけていました。



共産党の2議席は重要な役割と訴える松浦議員

大変厳しい選挙、なんとしても2議席を

松浦議員は「2人の再選を勝ち取ることはもちろん、自身の再選を勝ち取ることは大変厳しい。党を大きくし、赤旗読者を増やすことが求められます。岸田政権が進める大軍拡・大増税の中身がまともに報道されない中で、市民に知ってもらう工夫をしなければならぬ」と強く決意していました。



市長選に続く市議選で共産党の躍進を訴える飯田本部長

2期目に挑戦する村椿後援会の事務所開きが10時から行われました。

事務局からは、今度の市議選挙にあたって訴えがありました。昨年12月に閣議決定した

くらし・子育て応援の網走へ

「安保3文書」について岸田首相は訪米中の講演で「歴史上もつとも重要な決定の一つ」と自慢していましたが、これは「戦争しない国」から「戦争する国」へと大転換することを意味します。「岸田政権が進める『敵基地能力の保有』や5年で43兆円の大軍拡は、日本を守るどころか、逆に中国などの周辺国

憲法21条：集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。
②検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。

に脅威を与え戦禍を呼び込むものになります。
地方から声をあげよう

大軍拡を許せば、市民生活成り立たなくなります。市議選挙は、地方から『大軍拡・大増税』は許さないという岸田政権への厳しい審判の場になります。岸田政権にキツパリと物言う議員、共産党の2議席、

を再び議会へ送り出してほしい。今、共産党は亡国の政治をストップさせるために党を大きくしたい。ぜひ、入党していただき、ともに政治を変えるために力をお貸しいただきたい」と訴えました。

すばらしい学校給食を

村椿議員は、「15年前、中央小の親子給食化反対署名運動したが、集約化になった悔しい思いがある。



網走のすばらしい学校給食を守っていきたい」と訴えていました。

参加者からは「信頼している。ピラ配りや電話かけ、できることは何でもお手伝いしたい」となご熱い思いが語られました。

最後に「村椿さん、応援します。頑張ってください」と小学生から花束の贈呈もあり、元気の出る事務所開きになりました。

流水

岸田政権は「専守防衛」を投げ捨て、5年間で43兆円もの大軍拡を行う。安保政策の大転換にテレビでは詳しく報じない。大軍拡大増税は『国を滅ぼすもの』と、憲法学者・小林節さんが厳しく批判する。今「戦争か平和か」が問われている。大きく声を上げて行動して行こうと思っ

てい。天都山行きを止め、駒場木の広場へ。早々とゴジウウカラが姿を見せ待ちきれずに私の手からヒマワリの種を啜えて行く。餌台にヒマワリの種を置くと多数の野鳥が飛来。シジュウカラが多い。数が少ないヒガラが姿を見せた。乱舞する野鳥の姿に癒される。望遠レンズを付けたカメラマンが「フクロウを見ましたか？」と聞く。森にフクロウが戻って来たらしい。昨年この森で偶然にイイズナ（イタチ科で体調約20センチ程）が撮れたと写真を見せてくれた。小さく真っ白で愛らしい姿が捉えられていた。初めて見た。街の側に有る森には多くの野鳥や珍しい小動物が棲む貴重な場所だ。今日もモモンガを狙う多くのカメラがあった。「ウソ」が鳴いている。高い梢を見上げながら歩いていて雪に足を取られて新雪に頭から突っ込む。ヒヨドリが大声で笑い飛んで行った。アスリート爺